

科目名		建築設備			
担当教員		中野 聖奈		実務授業の有無	○
対象学科	建築大工科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方		授業は2級建築施工管理や2級建築士の学科試験で出題される範囲を紐解いていくスタイルで実施し、イメージがしづらく、取っ掛かりにくい設備分野の理解、知識習得を目的とする。また、練習問題を実施し、どのような出題形式で問われるかも合わせて確認する。この前期では、給排水衛生設備、換気設備、電気設備、照明設備、昇降設備などの試験でも中心的に問われる分野を学習する。後期に目指す2級建築施工管理学科試験、そしてその後の2級建築士学科試験を見据えて、詳しく学習する。			
学習目標 (到達目標)		2級建築施工管理学科試験、2級建築士試験合格レベルの知識定着を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		世界で一番やさしい建築設備 (株) エクスナレッジ			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	給排水衛生設備			給排水衛生設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。	
2	換気設備			換気設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。	
3	電気設備			電気設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。	
4	照明設備			証明設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。	
5	搬送設備			搬送設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことができる。	
6	順次 小テストを実施する。 (2回以上実施予定)				
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
期末試験	小テスト	課題提出・内容		期末試験に加え、小テストを随時実施するのでその評価も加える。課題提出を課した場合は、提出の有無、提出期限の厳守、課題内容によって評価をする。期末試験はもちろん、日頃の学習を疎かにすることなく、授業に臨むこと。 建築設備は快適な居住環境を整えるためになくはならないもの。身の回りで使われているところを探し、イメージを持って学習しましょう。	
70 %	20 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		意匠設計実務4年			